



お祝いのことば

秋田県教育委員会

教育長 小野寺

清

このたび、秋田県立能代高等学校が創立八十周年を迎えられましたことは、誠に喜ばしいことであり、心からお祝い申し上げます。

また、ここに創立八十周年記念誌を刊行されることは、これまでの皆さまの能代高等学校に対する思いを喚起することはもちろん、新たな飛躍を期するうえで意義深いものであり、敬意を表するものであります。

ご承知のとおり、能代高等学校は、大正十四年に県内五番目の旧制中学校として設立された秋田県立能代中学校がそのはじまりであります。以来八十年の歳月のなか、めまぐるしく変化する社会にあつて、能代山本地区の中核校としてのみならず、常に秋田県下有数の中心的立場としてその範を示し、数多くの優れた人材を社会に送り出してきました。現在日本の各界において、一線でご活躍されている能代高等学校卒業生の皆さまは枚挙にいとまがありません。

こうした能代高等学校の歴史と伝統は、これまで幾多の試練を乗り越えながらも、校訓である「至誠力行」を具現し、力を尽くした卒業生の皆さまのたゆまぬご精進のたまものによることは勿論のことですが、歴代の校長先生、諸先生の教育活動に傾注された情熱や、同窓生、PTA会員各位、さらには広く関係市町村、地域社会の皆さまの献身的なご協力、ご支援があつてこそ初めて築き上げられてきたものであり、ここに改めて深甚なる謝意と敬意を表するものであります。

さて、能代高等学校が高埒の地に移転して今年で三十年になりました。その間校舎は十分に整備されるとともに、その周辺は住宅地の拡大や商業施設の進出など、かつての田園地帯に建つ学校の面影はま

たくなくなり、身近な学校として地域住民に見守られながら成長してまいりました。そしてこの間における大学進学実績の向上と部活動の興隆は著しいものがあり、校是として掲げている「文武両道」を具現化し、先生方と生徒が一丸となつて努力してこられたことのあらわれであると考えます。

特に近年にいたつては、さまざまな創意工夫をしながら本県高等学校教育の先覚としての役割を果たしてこられました。平成十二年度からの五十分授業の実施や平成十五年度からの理数科の設置、平成十六年度からの二学期制の導入、さらには週一日五十分七時限授業の実施など、生徒の実情や地域の要望に応じた特色ある学校経営により、国公立・難関大学合格者数の安定した実績に加え、生徒がのぞむ進路の第一志望実現に向けた指導は、県内各高等学校とも注目をいたしております。

一方、平成七年の軟式野球部全国大会準優勝をはじめ、体操部・柔道部・空手道部など多くの部活動のインターハイ出場は目を見張るものがあります。さらに最近では文化部の活躍も素晴らしく、平成十六年の弁論部の全国大会優勝のほか、放送部・囲碁将棋部などは全国大会出場の常連となるなど、全国にもその名が轟いております。さて、県教育委員会では「第五次秋田県高等学校総合整備計画」により、新たな社会の変化に対応した教育の体制づくりに取り組んでいくところであり、平成十七年度に実施した能代高等学校の学級減をはじめとして、今後も理数科の定員減や地域周辺の高等学校の再編など全日制の課程の適正な規模と配置につとめてまいります。また、創立八十周年をひとつの節目として、母校の歴史と建学の精神をあらためて見つめ、松陵健児の気概と高邁な精神をもって、能代高等学校の名声をより一層高められることを願つてやみません。

終わりにあたりまして、能代高等学校が今後ともますます隆昌、繁栄されますことを念願し、お祝いのことばといたします。